

憲法

國民勤勞勅員令（案）

昭二〇一三〇

第一章 總則

第一條 國家總勅員法第四條乃至第六條ノ規定ニ基ク國民勤勞勅員（以下勤勞勅員ト稱ス）ニ關スル勅令ハ別ニ定ムルモ、余クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 本令ハ帝勅臣民ヲシテ勤勞勅員ノ本義ニ則リ國家ノ要務ニ關シテ親自勤勞配當ニ就キ全力ヲ奮ヒ戦力ノ増強ニ力メシムルコト比ノ他勤勞勅員ノ完達ヲ圖ルコトヲ目的トス

第二章 要目ノ就養及確保

第三條 厚生大臣又ハ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監トス以下同シ）ノ指定スル工場、事業場其ノ他ノ場所ニ於テ使用セラルル従業者又ハ地方長官ノ指定スル範圍ノ従業者ノ解雇及退職ハ命令ノ定ムル所ニ依リ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ
第四條 工場、事業場其ノ他ノ場所ノ指定ハ業種又ハ地域ニ依リ包括シ

テ之ヲ爲スコトヲ得

第一項ノ従業者ニ付雇傭期間ノ満了其ノ他解雇及退職以外ノ事由ニ因リ雇傭關係ノ終了スル場合ニ於テハ引續キ雇傭關係ヲ存續セシムベシ但シ命令ノ定ムル所ニ依リ地方長官ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第一項ノ規定ニ依リ指定ヲ受ケタル工場、事業場其ノ他ノ場所ノ主業主又ハ指定ヲ受ケタル範圍ノ従業者ヲ使用スル事業主ハ其ノ旨ヲ關係従業者ニ通知セシムベシ

第一項及第三項ノ規定ハ命令ヲ以テ定ムル場合並ニ副都道府縣及市町村其ノ他之ニ準ズベキモノニハ之ヲ適用セズ

第四條 前條第一項ノ従業者以外ノ従業者ニシテ厚生大臣又ハ地方長官ノ指定スル物産ノ生産、修繕若ハ配給、輸送又ハ土木建築ニ關スル業務其ノ他ノ勤勞勅員業務ニ從事スル地方長官ノ指定スルモノハ命令ノ定ムル所ニ依リ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ當該業務ニ從事スル

コトヲ辨ムルコトヲ得ズ但シ命令ヲ以テ定ムル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ
第 四 條 地方官ノ規定ニ依ル地方官ノ從業者指定ノ解除ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
第 一 項 ノ 規 定 ニ 依 リ 指 定 ヲ ラ レ タ ル 從 業 者 ノ 解 雇 ハ 命 令 ノ 定 ム ル 所 ニ 依 リ 地方官ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ第 三 項 及 第 五 項 ノ 規 定 ハ 此 ノ 場 合 ニ 之 ヲ 準 用 ス
第 五 條 厚生大臣ハ軍需省所管企業ニ於ケル勤勞管理ニ關スル事項ニ付テハ軍需大臣一ツハ地方官職製其ノ他緊急事態發生ノ場合ニ於ケル從業者ノ保護確保ノ爲ニ必要アリト認ムルトキハ他ノ法令ノ規定ニ拘ラス工場・事業場其ノ他ノ場所（以下事業場ト稱ス）ノ事業主ハ從業者ニ對シ從業時間ノ短縮若ハ短縮・休日・遅刻・早退・移動若ハ休暇ノ制限又ハ從業者ノ從業スベキ業務其ノ他從業者ノ費用若ハ從業ニ關スル事項ニ付必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第三章 勤勞規則

第一節 勤勞規則

第 六 條 從業者退職其ノ他ノ理由ニ因リ雇傭關係終了シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ職業紹介法第三十一條ノ規定ニ基キ其ノ居住ノ場所其ノ他勤勞規則自備上必要ナル事項ヲ地方官ニ報告スベキ
第 一 項 雇傭關係若シテ力甲管管ニ依リ申告ヲ爲スベキ者
第 二 項 職業紹介法第三十一條ノ規定ニ依リ申告ヲ爲スベキ者
第 三 項 船員法人船員・朝鮮船員等ノ船員及福東州船員等ノ船員
第 四 項 其ノ他厚生大臣ノ指定スル者
第 七 條 厚生大臣又ハ地方官必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ業種又ハ労働種ヲ指定シテ厚生大臣又ハ地方官ノ指定スル從業者ノ雇入・使用・就勤及從業ヲ禁止又ハ制限スルコトヲ得
第 八 條 從業者ノ雇主ハ命令ノ定ムル所ニ依リ職業紹介法第三十一條ノ規

定ニ基キ前項ノ規定ニ依リ指定セラレタル職種又ハ職種ニ付用スル
從業者ニ付其ノ氏名、居住ノ場所其ノ他勤勞動員準備ト必要ナル事
項ヲ地方長官ニ報告スベシ

官衙ノ長ハ前項ノ事項ヲ地方長官ニ通報スベシ

第八條 地方長官國民勤勞動員計劃實施ノ準備ト必要アリト認ムルト
キハ國民職事能力申告令ニ依ル事由申告者（以下要由申告者ト稱ス）ニ
對シ就職スベキ職種等ニ關スル希望、技能、修任其ノ他詳細ニ關シ
必要ナル事項ヲ届出ズベキコトヲ得

第九條 地方長官國民勤勞動員計劃實施ノ準備ト必要アリト認ムルト
キハ命令ニ依ル所ニ依リ就職勸誘、就職命令、徵用又ハ勤勞協力
ニ依リ就職又ハ從事スベキ者（以下勤勞動員指定者ト稱ス）ニ對
シ出頭、説明、意見ノ開陳又ハ報告ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトヲ
得

地方官前項ノ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ勤勞動員指定
者ノ關係事現場ノ事業主（國ニ在リテハ當該官衙ノ長トス）又ハ其

ノ所屬團體ノ長ニ對シ出頭、説明、意見ノ開陳（國ニ在リテハ當該
官衙ノ關係動員ニ依ル出頭、説明又ハ意見ノ開陳トス）又ハ報告ヲ
爲スベキコトヲ求ムルコトヲ得

地方長官ハ前項ノ規定ニ依ル命令ニ基キ出頭シタル勤勞動員指定
者ニ對シ旅費ヲ支給スルモノトス

第十條 第三十八條ノ者若ハ即休又ハ官衙以外ノ事現場ニ配屬セラレル爲
出頭シタル者ニ對シ前項ノ規定ニ依リ支給シタル旅費ノ額ハ當該年二

十八條ノ者若ハ即休又ハ當該事現場ノ事業主帥庫ニ之ヲ納入スベシ
第一項ノ規定ニ依リ勤勞動員指定者出頭スル場合ニ於テ前金押ヲ爲ス
ニ非ザレバ出頭スルコト能ハザル者、旅費ハ其ノ者ノ居住地ノ市町
村（東京都ノ區ノ在スル區域ニ在リテハ東京都）又ハ之ニ準ズベキ
モノニ於テ一時給付スベシ

勤勞動員指定者第一項ノ規定ニ依ル出頭スル場合ノ旅費及其ノ一時給
付支辨ニ關シ必要ナル事項ハ厚生大臣之ヲ定ム
第十條 地方長官必要アリト認ムルトキハ勤勞動員指定者ニ付身体ノ狀

態、居住及就職ノ場所、職業、技能程度其ノ他勤勞動員ニ關シ必要ナル事項ヲ検査又ハ調査シテ服務ノ適否ヲ判定スルモノトス

地方長官必也アリト認ムルトキハ前項ノ規定ニ依リ服務ニ適スト判定セラレタル者ニ對シ同項ノ事項中居住ノ場所其ノ他必要ナル事項ノ變更ニ付報告ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得

第十一條 前條第一項ノ規定ニ依ル検査又ハ調査及服務ノ適否ノ判定ニ關スル事務ニ從事セシムル爲メ府縣ニ國民勤勞動員官ヲ置ク
國民勤勞動員官ハ府縣高等官中ヨリ地方長官之ヲ命ズ

地方長官ハ前項ノ規定ニ依リ同項ノ事項中居住ノ場所其ノ他必要ナル事項ノ變更ニ付報告ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得

第十二條 地方長官必也アリト認ムルトキハ勤勞動員豫定者ニ付豫メ豫定ニ依ル勤勞動員ノ準備措置ヲ爲スベキモノトス

第十三條 厚生大臣又ハ地方長官勤勞動員ノ目的達成ノ爲必也アリト認ムルトキハ職業場ノ専業主、勤勞動員豫定者又ハ命令ヲ以テ定ムル從

業者ニ對シ勤勞動員豫定者及命令ヲ以テ定ムル從業者ノ勤勞適性検査又ハ勤勞訓練ニ關スル命令ヲ爲スコトヲ得

第十四條 第八條乃至第十條及前二條ノ規定ハ學徒勤勞令ノ適用ヲ受クベキ者ニハ之ヲ適用セズ

第十五條 命令ノ定ムル所ニ依リ職業場ノ専業主（國ニ在リテハ當該官衙ノ長トス）從業者（機動配當ニ依リ使用セントスル者ヲ除ク）ヲ雇入レ又ハ使用セントスルトキハ厚生大臣又ハ地方長官ニ其ノ雇入又ハ使用ノ員數ニ付割當ノ申請又ハ請求ヲ爲スコトヲ得

第十六條 厚生大臣又ハ地方長官ノ指定スル職業場ノ専業主（國ニ在リテハ當該官衙ノ長トス）ハ命令ノ定ムル所ニ依リ減耗補充ノ基準ト爲ルベキ從業者ノ員數ニ關スル事項ヲ定メ厚生大臣又ハ地方長官ノ認可ヲ申請シ又ハ承認ヲ請求スルコトヲ得

厚生大臣又ハ地方長官必也アリト認ムルトキハ専業主ニ對シ前項ノ事項變更ヲ命ジ又ハ前項ノ申請ナキ場合ト雖モ同項ノ事項ヲ定メ専業主ニ對シ之ヲ指示スルコトヲ得

第十七條 第十五條若ハ前條第一項、由器若ハ請求又ハ前條第二項、變更命令若ハ指示ハ命令、定ムル所ニ依リ協力關係、了ル事務場ニ付包括シテ之ヲ爲スコトヲ得

第二節 雇入及就職

第十八條 従事者、雇入及就職ハ左、各號、一ニ該管スル場合ヲ除ク、外之ヲ爲スコトヲ得ズ

一 事務場、事務主第十五條、由器ニ基キ勤當ヲ受ケタル雇入ルベキ員額、範圍内ニ於テ命令、定ムル所ニ依リ爲ス雇入及就職、場合

二 事務場、事務主ニ於テ命令、定ムル所ニ依リ第十六條第一項、認めテ受ケ又ハ同條第二項、指定ニ基キ變更若ハ指示了リタル員額、範圍内ニ於ケル雇入及就職、場合

三 命令、定ムル所ニ依リ指定、者、雇入及就職ニ付地方長官、認可ヲ受ケタル場合

前項、指定ハ命令ヲ以テ定ムル場合ニハ之ヲ適用セズ

第十九條 地方長官必要了リト認めルトキハ勤當能力了リト認めル者ニ對シ且、従事スベキ事務、場所等ヲ指定シテ所屬スベキコトヲ勤當スルコトヲ得

左、各號、一ニ該管スル者ニハ就業勸告ハ之ヲ爲サズ

一 陸海軍軍人ニシテ現役中ノモ、(未ダ入營セザル者ヲ除ク)及召集中ノモ、(召集中、身分取扱ヲ受クル者ヲ含ム)

二 陸海軍學生生徒(海軍後備練習生及海軍後備補充生ヲ含ム)

三 陸海軍官廳

四 陸海軍關係者勤當能力申告令ニ依リ由告ヲ爲スベキ者

五 獸醫師等勤當能力申告令ニ依リ由告ヲ爲スベキ者

六 船員法、船員、朝鮮船員令、船員及四重州船員令、船員

七 官吏、待遇官吏又ハ公吏

八 帝國議會、東京都議會、道府縣會、市町村會其、他之ニ準ズベ

キモノ、議員

九 総動員事務ニ従事スル者ニシテ餘人ヲ以テ代フベカラザルモノ
十 法令ニ依リ拘禁中ノ者
十一 其ノ他厚生大臣ノ指定スル者

第二十條 地方長官ハ左ノ各號ノ一ニ該当スル者ニシテ特別ノ
事情ナクシテ就職勸誘ニ應ザザルモノ、又ハ勸誘協力ヲ爲サザ
ルモノ、ニ對シ命令、定ムル所ニ依リ其ノ指定スル事務場ニ就職スル
コトヲ命ズルコトヲ得

- 一 事務ノ全額若ハ一環ヲ廢止若ハ休止スル事務場又ハ之
ニ準ズル命令ヲ以テ定ムル事務場ノ従事者
 - 二 地方長官ノ指定スル法令ノ職階ノ職階ニ該当スル者
 - 三 第十條第一項ノ指定ニ依リ官該事務場ノ事務ノ關係ニ適ス
ト判定セラレタル者
- 前項ノ事務場ノ指定ハ事務種、地域等ニ依リ包括シテ之ヲ爲スコト
ヲ得

第二十一條 前條第一項ノ指定ニ依リ指定セラレタル事務場ノ事務
主ハ命令、定ムル所ニ依リ同様ノ指定ニ依ル命令ヲ受ケタル者ヨリ
就任、甲出アリタルトキハ之ヲ雇入ルベシ

第三節 徵用

第二十二條 徵用ハ國家ノ要請ニ基キ帝國臣民ヲシテ要請ナル總動員
事務ニ従事セシムル必キタル場合ニ於テ之ヲ行フモノトス

第二十三條 徵用ハ理由告者ニ限リ之ヲ行フ。但シ徵用中理由告者タラ
ザルニ至リタル者ヲ引續キ徵用スル必キタル場合又ハ志願アリタル
者ヲ徵用スル必キタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
特別ノ必要アル場合ニ於テハ前項ノ指定ニ拘ラズ命令、定ムル所ニ
依リ理由告者以外ノ者ヲ徵用スルコトヲ得

第二十四條 徵用或ニ徵用、變更及解除ハ厚生大臣自ラ之ヲ行フ場合
ノ外厚生大臣ノ命令ニ依リ地方長官之ヲ實施ス。但シ命令ヲ以テ定
ムル場合ニ於テハ厚生大臣ノ命令ヲ俟タズ地方長官之ヲ實施スルコ

第二十五條 地方長官徵用セラルベキ者ヲ決定シタルトキハ之ニ徵用令書ヲ交付シ徵用ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スベシ

第二十六條 地方長官必要アリト認ムルトキハ前條第一項ノ規定ニ依リ被徵用者ニ對シ該組織ニ依リ出勤スベキコトヲ指示スルコトヲ得

第二十七條 徵用ノ取消、變更及解除ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十八條 徵用者轉勤員事務ニ從事スル場合ニ於テハ其ノ職務ニ關スル厚生、臣、命令ニ從フ、外官衙ニ使用セラルル者ニ在リテハ當該官衙ノ長、指揮ニ從ヒ、厚生大臣、指定スル者又ハ關係ニ使用セラルル者ニ在リテハ當該ノ者又ハ關係ノ長、指揮ニ從ヒ、其ノ他ノ事務場ニ使用セラルル者ニ在リテハ當該事務場ノ事務主ノ指揮ニ從フベシ

第二十九條 被徵用者ニ對スル給與ハ其ノ者ノ技能、經驗、從事スル事務及場所等ニ應ジ且從前ノ給與其ノ他之ニ準ズベキ收入ヲ斟酌シ被徵用者ヲ使用スル官衙ノ長、前條ノ者若ハ關係ノ長又ハ事務主之ヲ支給スルモノトス

被徵用者ニ對スル給與ニ關シ必要ナル事項ハ官衙ニ使用セラルル者ニ關シテハ當該官衙ノ所管大臣厚生大臣ニ協議シテ之ヲ定メ其ノ他ノ者ニ關シテハ當該第二十八條ノ者若ハ關係ノ長又ハ當該事務主厚生大臣ノ認可ヲ受ケテ之ヲ定ム

第三十條 被徵用者徵用令書ノ交付ヲ受ケ出張スル場合、徵用ヲ解除セラレ歸郷スル場合又ハ被徵用者若ハ其ノ家族ノ危篤若ハ死亡、爲第二十八條ノ者若ハ關係ノ長、官衙ノ長若ハ事務主ノ通知ニ依リ被徵用者ノ家族出張シ若ハ第二十八條ノ者若ハ關係ノ長、官衙ノ長若ハ事務主ノ許可ヲ得テ被徵用者一時歸郷スル場合、旅費ハ命令ヲ定ムル所ニ依リ當該官衙ノ長、當該第二十八條ノ者若ハ關係ノ長又ハ

當該事等場、事主之ヲ支給スルモ、トス
第九條第五項、規定ハ被徵用者徵用令等ノ交付ヲ受ケ申請スル場
合ニ之ヲ準用ス

第一項ノ規定ニ依ル旅費及其ノ一時給養等ニ關シ必應ナル事項
ハ官衙ニ使用セララル被徵用者ニ關シテハ當該官衙ノ所管大臣
生大臣ニ協議シテ之ヲ定メ其ノ他ノ者ニ關シテハ厚生大臣之ヲ定
ム

第三十一條 被徵用者徵用セラレタルニ因リ其ノ家族ト世帯ヲ異ニス
ルニ至リタル場合其ノ他特別ノ事情アル場合又ハ被徵用者故意若
ハ重大ナルケニ因ルニ非ズシテ事終ト傷病ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹
リ之ガ爲徵用ヲ解除セラレタル場合ニ於テ本人又ハ家族ガ生活ス
ルコト困難ナルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ニ對シ扶助ヲ爲スコ
トヲ得

被徵用者徵用セラレ轉動員等ニ從事中故意又ハ重大ナル過失ニ因
ルニ非ズシテ事終ト傷病ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ之ガ爲死亡シタル

場合ニ於テ遺族ガ生活スルコト困難ナルトキハ命令ノ定ムル所ニ依
リ之ニ對シ扶助ヲ爲スコトヲ得

前二項ノ家族又ハ遺族ノ節用及扶助ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ
以テ之ヲ定ム

第三十二條 前條ノ規定ニ依ル扶助ガ被徵用者ニシテ第二十八條ノ者
若ハ離休又ハ官衙以外ノ事等場ニ使用セラレ若ハ使用セラレタル
者又ハ其ノ家族若ハ遺族ニ對シ爲サレタルモ、ナルトキハ命令ノ
定ムル所ニ依リ當該第二十八條ノ者若ハ離休又ハ當該事等場ノ事等
主ヲシテ扶助ニ要シタル費用ヲ酌量ニ納入セシムルコトヲ得

第三十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ之ヲ徵用セズ
一 陸海軍軍人ニシテ現役中ノモ、(未ダ入營セザル者ヲ除ク)及
召集中ノモ、(召集中ノ身分取扱ヲ受ケル者ヲ含ム)

二 陸海軍學生生徒(海軍復備練習生及海軍復備補習生ヲ含ム)
陸海軍軍醫

四 警察關係者職務能力申告令ニ依リ由告ヲ爲スベキ者
 五 獸醫師等職務能力申告令ニ依リ由告ヲ爲スベキ者
 六 給員法ノ給員、朝鮮給員令ノ給員及關東州給員令ノ給員
 七 法令ニ依リ拘禁中ノ者

第三十四條 左ノ各號、一ニ該官スル者ハ特別ノ必要アル場合ヲ除クノ外之ヲ徵用セズ

- 一 餘人ヲ以テ代フベカラザル職ニ在ル官中、特選官中、又ハ公吏
- 二 帝國議會、東京都議會、道府縣會、市町村會其、他是ニ準ズベキモ、ノ議員

二 總動員ニ從事スル者ニシテ餘人ヲ以テ代フベカラザルモ、其、陸軍生大臣ノ指定スル者

第四節 勸勞協力

第三十五條 勸勞協力ハ緊急ノ要アル場合ニ於テ國家ノ要請ニ基キ帝國臣民ヲシテ命令ヲ以テ定ムル總動員等ニ從事セシムル要アル場合ニ於テ之ヲ行フモ、トス

第三十六條 地方長官必キテ認ムルトキハ命令ヲ定ムル所ニ依リ市町村長(市町村長ニ準ズルモ)ヲ含ミ東京都ノ區、在スル區域並ニ京都市、大阪市、名古屋市、横濱市及神戸市ニ在リテハ區長トス)其、他、團休、長若ハ學校校長(團ニ在リテハ當該官衙、長トス)ニ對シ勸勞協力ニ關シ必キテ示シテハ當該官衙長官ヲ爲スベキ者、選定、本人ニ對スル其、選定アリタル旨、通知其、他ニ關シ勸勞協力上必要ナル措置ヲ命ジ又ハ請求スルモ、トス

前項ノ措置ハ勸勞其、他緊急事態發生ノ場合ニ於テ必要アルトキハ同項ノ規定ニ拘ラズ地方長官自ラ之ヲ爲スコトヲ得

第三十七條 前條ノ規定ニ基ク通知ヲ受ケタル者ハ同條ノ指示ニ從ヒ勸勞協力ヲ爲スベシ

第三十八條 勸勞協力ノ取消、變更及解除ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十九條 勤勞協力ニ要スル經費ハ命令ノ定ムル所ニ依リ特別ノ準備アル場合ヲ除ク、外勤勞協力ヲ要クル者之ヲ自擔スルモノトス

第四十條 左ノ各號ノ一ニ該当スル者ハ勤勞協力ヲ爲サシメザルモトス

- 一 陸海軍中人ニシテ現役中ノモノ（未ダ入營セザルモノヲ除ク）及召集中ノモノ（召集中ノ身分取扱ヲ受クル者ヲ含ム）
- 二 陸海軍學生生徒（海軍豫備訓練習生及海軍豫備補習習生ヲ含ム）
- 三 陸海軍重慶
- 四 現ニ徵用中ノ者
- 五 陸軍大臣若ハ海軍大臣ノ所管ニ屬スル官衙（砲臺及艦隊ヲ含ム）又ハ厚生大臣ノ指定スル工場、事業場其ノ他、場所ニ於

テ軍事上必要ナル勤勞目録ニ從事スル者

第六十條 依リ拘禁中ノ者

第四十一條 左ノ各號ノ一ニ該当スル者ハ志願ニ依ル場合ヲ除ク、外勤勞協力ヲ爲サシメザルモノトス

- 一 現ニ厚生大臣ノ指定スル總動員名簿ニ從事スル者
- 二 女子ニ在リテハ家庭生活ノ根軸タル者
- 三 其ノ他厚生大臣ノ指定スル者

第四十二條 本節ニ規定スルモノ、外勤勞常時要員トシテ、女子ノ除組織（女子挺身隊ト稱ス）又ハ勤勞常時要員トシテ、女子以外ノ者、除組織（國民勤勞常時隊ト稱ス）ニ依ル勤勞協力ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

儀勅記直

儀勅記直ハ生計書ノ變移、緊要事務ノ元送其ノ他命令ヲ以テ
アテムル場合ニ於テ國家ノ要請ニ基キ御事當時自タル從事者ヲ儀勅的
ニ他ノ事務場ニ於テ行フ儀勅記直ニ從事セシムル必要アル場合ニ於テ
之ヲ行フモノトス

儀勅記直ハ現方長官ハ命令ノ定ムル所ニ依リ厚平大臣ハ
現方長官ノ信託スル者又ハ團體ニ對シ相違目取ノ儀勅記直要目ノ保有具
ノ他儀勅記直ノ準備ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ待

儀勅記直ハ生大臣又ハ現方長官命令ノ定ムル所ニ依リ必要アリト認
ムルトキハ儀勅記直セフルベキ從業者ヲ使用スル事務主ノ職ニ任リアハ
該官衙ノ長トス。若ハ其ノ所屬團體ノ長又ハ副長ノ若ハ團體ニ對シ儀
勅記直ヲ受クベキ者。儀勅記直セフルベキ者ノ從事スベキ事務ノ相違、
儀勅記直スベキ事務場ノ範圍或ハ所屬人員數其ノ他必要ナル事項ヲ指
シテ儀勅記直ニ關シ必要ナル指直ヲ命ジ又ハ請求スルモノトス

儀勅記直ハ指直ヲ命ゼフレ又ハ請求セフレタル者ハ命令ノ定ムル
儀勂十六條 儀勂ノ指直ヲ命ゼフレ又ハ請求セフレタル者ハ命令ノ定ムル

儀勂十七條 儀勂ノ指直ヲ命ゼフレ又ハ請求セフレタル者ハ命令ノ定ムル

儀勂十八條 儀勂ノ指直ヲ命ゼフレ又ハ請求セフレタル者ハ命令ノ定ムル

儀勂十九條 儀勂ノ指直ヲ命ゼフレ又ハ請求セフレタル者ハ命令ノ定ムル

儀勂二十條 儀勂ノ指直ヲ命ゼフレ又ハ請求セフレタル者ハ命令ノ定ムル

儀勂二十一條 儀勂ノ指直ヲ命ゼフレ又ハ請求セフレタル者ハ命令ノ定ムル

第五十條 渡船北直ニ付テ費用ハ前令ノ如クムル所ニ依リ特別ノ手續アル場
 合ヲ除クノ外渡船北直ヲ受クル事業主之ヲ負擔スルモノトス
 第五十一條 渡船北直ノ取消、変更又ハ併除ニ付シ必要ナル事項ハ前令ヲ
 以テ之ヲ正ム

第五十二條 第九條、第十條、第十二條、第十三條及第二十六條ノ規定ハ
 渡船北直セフルベキ若ハ船主兼業主ハ同一任リアハ船主兼業主ノ受トス
 又ハ其ノ船主兼業主ノ受ニ付シ之ヲ準用ス

第五十三條 厚生大臣ハ軍需省所管企業ニ於ケル船主兼業主ニ付テハ
 付テハ軍需省所管企業ニ於ケル船主兼業主ニ付テハ軍需省所管企業ニ於ケル
 船主兼業主ノ受トス又ハ軍需省所管企業ニ於ケル船主兼業主ノ受トス
 又ハ軍需省所管企業ニ於ケル船主兼業主ノ受トス

第五十四條 渡船北直セフルベキ從業者ニ付且ノ北直轉換ノ爲メ徴用又ハ勤
 勞艦刀ヲ變更スルノ要アル場合ニ於テハ前令ノ如クムル所ニ依リ徴用又ハ
 勤勞艦刀ノ變更アリタルモノトス
 第五十五條 現行法令必要アリトスルモノトキハ事業主ニ對シ從業者ヲシテ

歸郷ノ上主要食糧等ノ生産者ニ從事セシムル爲メ該等船主ニ從業スルコ
 トノ臨時停止且ノ他ノ必要ナル措置ヲ命ズルコトヲ得
 第五十六條 左ノ各條ノ一二該條スル者ハ本條ノ從業者ニハ之ヲ含まザル
 モノトス

- 一 醫務船主若シテ軍需省所管企業ニ依リ田舎ヲ爲スベキ者
- 二 獸醫船主若シテ軍需省所管企業ニ依リ田舎ヲ爲スベキ者
- 三 船主兼業主、船主、船主兼業主、船主兼業主ノ船主及船主兼業主ノ船主
- 四 官吏、待遇官吏又ハ公吏
- 五 帝國議會、東京都議會、道府縣會、市町村會且ノ他之ニ準ズベキモ
 ノノ議員
- 六 且ノ他厚生大臣ノ指定スル者

第五五章 規則

第五十七條 厚生大臣又ハ現行法令官ハ等給與給與者ニ依リ從業者ノ使用又
 ハ從業者ノ制限ニ付シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第五十八條 地方長官本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依ル者同又ハ部
長ノ申付ニ付不正若ハ屬員ノ事行リトモムルトキハ特ニ必要アリト
モムルトキハ若シハ若シハ同又ハ部員ノ取消又ハ變更ヲ命スルコトヲ得
第五十九條 厚生大臣ハ軍需省所管企業ニ於ケル勤勞管理及給與ニ關スル
事項ニ付テハ軍需大臣又ハ地方長官ハ從事者ノ雇入、使用、解雇、就
業、從業、退職又ハ賞金、給料其ノ他ノ從事條件ニ付事業主ニ對シ監督
上必要ナル命令ヲ命スルコトヲ得
第六十條 厚生大臣ハ軍需省所管企業ニ於ケル勤勞管理及給與ニ關スル事
項ニ付テハ軍需大臣又ハ地方長官必要アリトモムルトキハ事業主、監
理人、監督人、若シハ團體又ハ個人十四條ノ若シハ團體ニ對シ第九條ノ命令
ヲ受ケテ、一若シハ同又ハ團體ノ命令ヲ受ケタル事業主ニ付用セラルル從
事者、被雇用者、就職命令ニ基キ就職スル者、勤勞服刀ヲ爲スベキ者又ハ
機働車直セフレタル從事者ノ使用又ハ賞金、給料、防護施設其ノ他ノ從
業條件ニ付必要ナル命令ヲ命スルコトヲ得
被雇用者、就職命令ニ基キ就職セル者、勤勞服刀ヲ爲ス者又ハ機働車直

ヲ爲セル從業者ガ職務上自働シ、疾病ニ罹リ又ハ死亡シタル場合ニ於テ
事業主ノ爲ス本人又ハ其ノ遺族ニ對スル扶助ニ關シ必要ナル事項ハ命令
ヲ以テ之ヲ得
第六十一條 厚生大臣ハ軍需省所管企業ニ於ケル勤勞管理及給與ニ關スル
事項ニ付テハ軍需大臣、地方長官又ハ國民勤勞勸導委員會ノ施行ニ
關シ必要アリトモムルトキハ同又ハ部員ノ取消又ハ變更ヲ命スルコトヲ得
第六十二條 第七條第一項、第二項、第十三條、第十六條第一項、第五十九
三條、第五十九條、前三條及第六十三條ノ規定ハ國及都道府縣ニハ之ヲ
適用セズ
第五十九條及第六十七條ノ規定ハ國及都道府縣ノ事業主ニハ之ヲ適用セズ現行
長官ハ國又ハ都道府縣ニ於テ爲ス從業者ノ雇入、使用、解雇又ハ賞金、
給料其ノ他ノ從業條件ニ關シ從業者ヲ使用スル旨衛又ハ都道府縣ヨリ申
報ヲ求ムルコトヲ得
第六十三條 厚生大臣ハ軍需省所管企業ニ於ケル勤勞管理及給與ニ關スル
事項ニ付テハ軍需大臣、地方長官又ハ國民勤勞勸導委員會ノ施行ニ關

シ必要アリトモルキハ高野官吏ヲシテ職法ノ事等ニ過儀シテ
欲況又ハ海軍領且ノ物件ヲ扱任セシムルコトヲ待此ノ場合ニ於テ
ハ高野官吏ヲシテ其ノ身分ヲ示ス諸渠ヲ携帶セシムベシ

第六十四條 瑞万民官ハ國民幼少期目者長ヲシテ本令所屬ニ歸スル且ノ事
一ノ一部ヲ分掌セシメ又ハ市町村長ハ東京部ノ區ノ存スル區域。京都市
大阪市。名古屋市。横浜市及神戸市ニ任リテハ區長ノ若ハ之ニ歸スベキ
モノヲシテ本令所屬ニ歸スル且ノ事。一ノ一部ヲ補助セシムルコトヲ待
市町村長ハ東京部ノ區ノ存スル區域。京都市。大阪市。名古屋市。横浜
市及神戸市ニ任リテハ區長ノ若ハ之ニ歸スベキモノノ事。一ノ一部
本令所屬ニ歸スル且ノ事ヲ執行スル爲メニ官用ハ市町村長ハ東京部ノ區ノ
存スル區域ニ任リテハ東京部ノ區ノ若ハ之ニ歸スベキモノノ事。一ノ部
スベシ

第六十五條 厚生大臣必要アリトモルキハ地方行政監督官ノ職ヲ行
政監督官ヲ置テ之ヲシテ地方行政監督官ノ職ヲ行

ヲ行ハシムルコトヲ待

第六十六條 厚生大臣必要アリトモルキハ地方行政監督官ノ職ヲ行
政監督官ヲ置テ之ヲシテ地方行政監督官ノ職ヲ行

第六十七條 厚生大臣必要アリトモルキハ地方行政監督官ノ職ヲ行
政監督官ヲ置テ之ヲシテ地方行政監督官ノ職ヲ行

本令ハ昭和二十年 日ヨリ之ヲ施行ス
 國民徴用令。各條調查令。兵役卒業者使用制限令。國民勤勞報國協刀令
 及女子挺身勤勞令ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス但シ本令施行前ニ爲シ
 タル行爲ニ關スル罰則ノ適用。本令施行前ニ國民徴用令第十九條第一項
 又ハ第二十九條ノ三ノ規定ニ依リテ支給シ又ハ爲シタル處置ノ類又ハ扶助
 二要シタル費用ノ國庫納入ニ關スル規定ノ適用。本令施行前ニ爲シタル
 各該調査令又ハ同令ニ基キテ發スル罰令ニ依ル可ニ關スル同令第十二
 條ノ規定ノ適用及學校卒業者使用制限令第二條ノ規定ニ依ル認可ニ關
 スル同令第十三條ノ二又ハ第三條ノ規定ノ適用ニ付テハ本令施行後ト雖
 モ仍其ノ效力ヲ有ス

本令施行ノ条規ニ國民徴用令ニ依リテ爲ス徴用又ハ國民勤勞報國協刀令
 及女子挺身勤勞令ニ依リテ爲ス協刀ハ之ヲ本令ニ依ル徴用又ハ勤勞報
 刀ト看做ス

本令施行前ニ國民徴用令第三條第二項。第五條。第十六條ノ四。第十六
 條ノ九第二項。第十九條ノ二若ハ第十九條ノ三ノ規定ニ基キテ發シ若ハ
 爲シタル罰令。同令第十八條第二項。第十九條第六項若ハ第二十三條
 第二項ノ規定ニ基キテ爲シタル者各該調査令第二條第一項若ハ第八條ノ
 二ノ規定ニ基キテ爲シタル者。國民勤勞報國協刀令第六條ノ規定ニ基
 キテ爲シタル罰令。同令第十條第六項若ハ第十一條第二號ノ規定ニ基
 キテ爲シタル者。女子挺身勤勞令第六條若ハ第十三條ニ基キテ爲シタル
 罰令又ハ同令第十四條第二號若ハ第十五條第三號ノ規定ニ基キテ爲シタ
 ル罰令ハ之ヲ本令中ノ相當規定ニ基キテ發シ若ハ爲シタル罰令。又ハ
 爲シタル者看做ス

本令施行前ニ各該調査令第七條第二號又ハ兵役卒業者使用制限令第二條ノ
 規定ニ基キテ爲シタル者同第十八條ノ三ノ規定ノ適用ニ關スル同令第十二
 條ノ規定ノ適用ニ付テハ本令施行後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス

本令施行期等務調整令施行細則若ハ第七條第三號ノ規定ニ基キテ爲シタル
必可ハ第十八條第一項第三號ノ規定ニ基キテ爲シタル必可ト有ス
厚生部内閣府職員設置制中左ノ如ク改正ス

五、第十一號ヲ第十號ニ、第十二號ヲ第十一號ニ改メ
六、國民勤務勅目令施行ニ關スル事務
事務官 專任一人
技師 專任二人

技師 專任二人

技師 專任十一人

警視廳官制中左ノ如ク改正ス

第三條中「國民徴用令」等務調整令及國民勤務報國協力令」ヲ「國民勤
務勅目令」ト改メ

第十二條勅目令ノ部中第十八號及第十九號ヲ左ノ如ク改メ至第二十號及第
二十一號ヲ削ル

十八 國民勤務勅目令施行ニ關スル事項

十九 勅目令ニ依グルモノノ外國民勤務勅目ニ關スル事項

至三十九條第二項中「等務調整令」國民勤務報國協力、國民徴用且、他」
ヲ削ル

北海道廳官制中左ノ如ク改正ス

第十二條至第十四條及至二十五號ヲ左ノ如ク改メ至二十六號及至
二十七號ヲ削ル

二十四 國民勤務勅目令施行ニ關スル事項

至三十八條第二項中「等務調整令、國民勤務報國協力、國民徴用且、他」
ヲ削ル

樺太廳官制中左ノ如ク改正ス

第十三條中第九號及第十號ヲ左ノ如ク改メ至十一號ヲ削リ至十二號ヲ第
十一號トシ以下順次繰上グ

九 國民勤務勅目令施行ニ關スル事項

十 前記ニ振グルモノノ外國民勤勞動自ニ歸スル事増
萬四十一條第二項中「勞務調整。國民勤勞報國隊刀。國民徵用兵ノ他」
ヲ削ル

萬五條第三項中「改正ス」

萬十九條第二十三號及第二十四號ヲ「如ク改メ萬二十五號及第二十六
號ヲ削ル

二十一 國民勤勞動自令施行ニ關スル事項

二十四 前記ニ振グルモノノ外國民勤勞動自ニ歸スル事項

二十五 第一項勤勞部ノ部中「第二十六號」トアルヲ「第二十四號」
ニ改ム

萬四十八條ノ三項第二項中「勞務調整」。國民勤勞報國隊刀。國民徵用兵
ノ他」ヲ削ル

國民勤勞手帳法施行令中「改正ス」

萬四條中第二號ヲ第三號トシ第一號ノ次ニ「一號」ヲ加フ

二 國家總動員法第五條ノ第六項ニ「勤勞部」トシテ附スル者

萬七條第二項中「第二號」ヲ「第三號」ニ。第三號ヲ「第四號」ニ改メ第一號ノ次ニ
「一號」ヲ加フ

二 國家總動員法第五條ノ第六項ニ「勤勞部」トシテ附スル者

一 國民勤勞動自令第三條第一項。第三項但書若ハ萬四條第一項ノ「
正ニ依ルモノ」ヲ「之ヲ退避スルトキ」ハ同令第十八條第一項第三號
ノ「勤勞」ヲ「之ヲ就職スルトキ」

厚生省總務司認可等職特許中「改正ス」

萬二條本文中「認可。府出及協議」ヲ「認可及府出」ニ改ム

七 削除

萬五條本文中「第十一號乃至第十四號」ヲ「第十三號」ニ改ム

萬九條第十一號及第十二號ヲ「如ク改ム」

十一 削除
十二 削除

極秘

國家勸勞勳員令施行規則（案）

第一章 總則

第一條 國民勸勞勳員令（以下令ト稱ス）ニ基ク命令ハ別ニ定ムルモノ
ヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 要員及就業ノ確保

第二條 令第三條第一項又ハ第三項但書ノ認可ノ申請ハ様式第一號ニ依
リ當該従業者ノ使用セラルル工場、事業場其ノ他ノ場所（以下事業場
ト稱ス）ノ所在地ノ所轄國民勸勞勳員若長ヲ經由シ當該事業場ノ所在
地ノ所轄地方官（東京都ニ在リテハ警視總監トス以下同ジ）ニ對シ
之ヲ爲スベシ

團又ハ都道府縣ニ使用セラルル従業者前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ
當該官衙又ハ都道府縣ヲ經由シテ之ヲ爲スベシ

第三條 令第三條第五項（令第四條第三項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）
ノ場合トハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合トス

一 陸海軍ニ召集若ハ召集（教育召集、演習召集又ハ防衛召集ヲ除ク）
セラレ又ハ志願ニ依リ陸海軍ノ現役ニ服セシメラレタル場合
二 陸海軍學生生徒（海軍練習生及海軍練習生ヲ含ム）ニ採
用セラレタル場合

三 就職勸奨又ハ就職命令ニ基キ他ノ事業場ニ就職スル場合

四 多用セラレタル場合

五 他ノ事業場ニ勤勞當時要員トシテ勤勞協力スル場合

六 法令ニ依リ解雇又ハ退職ヲ要スルニ至リタル場合

七 日日雇入レテ従業者ヲ使用スル場合

八 三十日以内ノ期間ヲ定メテ雇入レテ従業者ヲ使用スル場合

九 營業ノ讓渡其ノ他ノ事由ニ因リ事業ヲ廢止スル場合ニ於ケル従業
者ノ解雇又ハ退職ノ場合

日日雇入レタル従業者ヲ三十日ヲ超エテ引續キ雇入レタル場合ハ前項
第七號ニ該當セザルモノトス

前項ノ規定ノ適用ニ付テハ三十日ヲ超エテ引續キ雇入レザル場合ト雖モ雇入レザル日ガ從業者ノ雇入レラルル事業場ノ公休日又ハ事業主ノ都合ニ依ル一齊休業日ナル場合ニ於テハ之ヲ引續キ雇入レタルモノト看做ス

三十日以内ノ期間ヲ定メテ雇入レタル從業者ヲ三十日ヲ超エテ引續キ雇入シタル場合ハ第一項第八號ニ該當セザルモノトス

前項ノ規定ノ適用ニ付テハ雇傭關係終了ノ日ヨリ五日以内ニ再ビ其ノ者ヲ雇入レタル場合ハ之ヲ引續キ雇傭シタルモノト看做ス

第四條 令ニ四條第一項ノ認可ノ申請ハ地方長官ノ定ムル所ニ依リ様式第二號ニ依リ從業者ノ從業地ノ所轄地方長官ニ對シ之ヲ爲スベシ

第五條 令第四條第一項但書ノ場合トハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合トス

- 一 第三條第一項第一號乃至第四號ノ場合
- 二 教育召集、演習召集又ハ防衛召集ノ爲陸海軍ニ召集セラレタル場合

三 他ノ事業場ニ勤勞協力スル場合

四 法令ニ依リ當該業務ニ従事スルコトヲ罷ムルヲ學スルニ至リタル場合

五 地方長官又ハ其ノ指定スル團體ノ指示ニ從ヒ當該都道府縣ノ區域外ニ於テ當該業務ニ従事セントスル場合

六 地方長官ノ指定シタル期間内ニ限り當該業務ニ従事スルコトヲ能メントスル場合

七 疾病、女子ニ在リテハ婚姻其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ因リ當該業務ニ従事スルコト能ハザル場合

八 解雇セラレタル場合

九 其ノ他地方長官ノ定ムル場合

第六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ地方長官ハ令第四條第一項ノ規定ニ依リ指定ヲ受ケタル從業者ニ付其ノ指定ヲ解除スルコトヲ得

一 指定シタル者疾病其ノ他ノ事由ニ因リ引續キ當該義務ニ從事スル
 ニ適セザルニ至リタル場合
 二 其ノ他厚生大臣ノ指定スル場合
 令第四條第一項ノ認可ノ申請アリタル場合ニ於テ地方長官前項各號ノ
 一ニ該當スルモノト認メタルトキハ令第四條第一項ノ認可ニ代ヘテ其
 ノ者ニ付其ノ指定ヲ解除スルコトヲ得
 第七條 第四條ノ指定ハ令第四條第三項ノ認可ノ申請ニ之ヲ準用ス

第三章 勤勞動員

第一節 勤勞動員準備

第八條 從軍者退職シタルトキハ退職後ノ居住ノ場所ヲ選擇ナク居住ノ
 場所ノ所屬國民勤勞動員署長ヲ經由シ居住ノ場所ノ所屬地方長官ニ報
 告スベシ之ヲ變更シタルトキ亦同ジ
 第九條 厚生大臣又ハ地方長官ニ於テ禁止又ハ制限ノ指定ヲ爲シタル程
 度又ハ時機ニハ厚生大臣又ハ地方長官ノ指定スル年月日以後ハ其ノ指

定シタル禁止又ハ制限ノ範圍ヲ超エテ厚生大臣又ハ地方長官ノ指定シ
 タル從業者ノ導入、使用、就職又ハ從業ヲ爲スコトヲ得ズ但シ特別ノ
 事由ニ因リ國民勤勞動員署長ノ認可アリタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
 前項ノ指定ハ厚生大臣又ハ地方長官ノ告示ニ依リ之ヲ爲ス
 第十條 前條第一項但書ノ認可ノ申請ハ様式第三號ニ依リ就職又ハ從業
 セントスル從業者及其ノ者ヲ導入又ハ使用セントスル者ノ選考ヲ以テ
 其ノ者ヲ使用セントスル事業場ノ所在地ノ所屬國民勤勞動員署長ニ對
 シ之ヲ爲スベシ

第十一條 第九條ノ指定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ之ヲ適用セズ
 一 軍人又ハ之ニ準ズベキ者（軍醫ヲ含ム）トシテ職司其ノ他ノ公務
 ニ因リ傷害ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ其ノ固定シタル症狀感給法施行令
 第二十四條、第二十四條ノ二又ハ第三十一條ニ指定スル傷害ノ程度
 ニ達スルモノ

一 二年齡十二歳未満若ハ年齡六十歳以上ノ男子又ハ年齡十二歳未満若

八年論四十年以上ノ女子

三 國民勤勞勲員若長ニ於テ身体ノ障害ニ因リ作業能力著シク劣レルモノト認定シタル者

前項第三號ノ認定ヲ受ケントスル者ハ様式第四號ニ依リ居住地ノ所管國民勤勞勲員若長ニ申請スベシ

第十二條 事業場ノ事業主ハ令第七條第一項ノ相定ニ依リ厚生大臣又ハ地方長官ニ於テ禁止又ハ制限ノ旨定ヲ爲シタル業種又ハ職種ニ厚生大臣又ハ地方長官ノ指定シタル業種ヲ使用スル場合ハ常務従業者ニ付其ノ氏名、住所、年令及職種ヲ通知ナク當該事業場ノ所在地ノ所管國民勤勞勲員若長ヲ經由シ當該事業場ノ所在地ノ所管地方長官ニ報告スベシ

第十三條 地方長官令第九條第一項ノ相定ニ依リ勤勞勲員認定者ニ對シ出頭又ハ報告ヲ爲スベキコトヲ命ズル場合ハ様式第五號ニ依リ命令書ヲ發シ之ヲ本人ニ交付シテ之ヲ爲スモノトス

第十四條 勤勞勲員認定者爾後ノ出頭ノ命令書ノ交付ヲ受ケタルトキハ當該命令書ヲ考ヘ指定ノ日時及場所ニ出頭シ當該官吏ニ届出ヅベシ

第十五條 第十三條ノ出頭ノ命令書ノ交付ヲ受ケタル勤勞勲員認定者疾病其ノ他避クベカラザル事故ニ因リ指定ノ日時及場所ニ出頭スルコト能ハザル場合ハ左ノ書類ヲ添附シ出頭ノ命令書ヲ發シタル地方長官ニ通知ナク其ノ旨ヲ届出ヅベシ

一 傷病疾病ニ因リ出頭シ難キ場合ニ在リテハ醫師ノ診断書（已ムラ得ザル事情ニ因リ醫師ノ診断書ヲ得ルコト能ハザルトキハ警察官吏ノ證明書）

二 天災其ノ他避クベカラザル事故ニ因リ出頭シ難キ場合ニ在リテハ其ノ地ノ市町村長若ハ之ニ準ズベキモノ又ハ警察官吏、船長若ハ港長ノ證明書

第十六條 前條ノ相定ニ依ル届出アリタル場合ニ於テ地方長官必ダアリト認ムルトキハ出頭スベキ日時若ハ場所ヲ變更シ又ハ出頭命令ヲ取消

スコトヲ得

第十七條 令第十三條ノ勳勞進性審査ヲ爲スベキ從業者ハ當該事業場内

ニ於ケル其ノ者ノ配當ニ際シ其ノ者ノ身体ノ状態、智能ノ程度等ニ因

リ特ニ慎重若ハ殿場ノ選定ニ注意ヲ爲スルト認メラル者トス

第十八條 令第十三條ノ勳勞訓練ヲ爲スベキ從業者ハ左ノ各號ノ一ニ該

當スル者トス

一 當該事業場ニ配當セラルルニ際シ勳勞訓練ヲ爲スノ要アリト認定

シタル從業者ニシテ勳勞訓練ヲ爲スノ暇ナクシテ配當セラレタルモ

二 其ノ特ニ厚生大臣又ハ地方長官ニ於テ必由アリト認定シタル者

第十九條 第十五條ノ申請又ハ請求ハ様式第六號ニ依リ從業者ヲ導入

又ハ適用セントスル事業場ノ所在地ノ所屬國民勳勞勲員署長ヲ經由シ

當該事業場ノ所在地ノ所屬地方長官ニ對シ之ヲ爲スベシ

第二十條 令第十五條ノ申請又ハ請求ニシテ導入レ使用セントスル從業

者ハ厚生大臣ノ指定スル學校ニ於テ厚生大臣ノ指定スル學科ヲ修メタ

ル者ニ係ルモノナルトキハ當該申請又ハ請求ハ前條ノ規定ニ拘ラズ様

式第七號ニ依リ其ノ者ノ勳勞スベキ事業場別ニ當該事業場ノ所在地ノ

所屬地方長官ヲ經由シ厚生大臣ニ對シ之ヲ爲スベシ

前項ノ場合ニ於テ其ノ者ノ勳勞スベキ事業場二以上アルトキハ主トシ

テ勳勞スベキ事業場別ニ、勳勞スベキ事業場一定セザルトキハ適用者

ノ主タル事業場所ニ付之ヲ爲スベシ

第一項ノ申請又ハ請求ニ對スル罰則ヲ爲シタル後ニ於テ使用シ得ベキ

者アルトキ其ノ他特別ノ必由アルトキハ第一項ノ規定ニ拘ラズ令第十

五條ノ申請又ハ請求ヲ爲スコトヲ得

第二十一條 令第十五條ノ申請又ハ請求ニシテ使用セントスル事業場ガ

本令施行前ニ在ル場合ニ係ルモノナルトキハ當該申請又ハ請求ハ前

二條ノ規定ニ拘ラズ厚生大臣ニ對シ之ヲ爲スベシ

第二十二條 第十九條ノ申請又ハ請求ハ地方長官、第二十條第一項及前

條ノ申請又ハ請求ハ厚生大臣ノ定ムル期日迄ニ之ヲ爲スベシ但シ特ニ
緊急ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十三條 令第十六條第一項ノ申請又ハ請求ハ様式第八號ニ依リ當該
事業場ノ所在地ノ所轄國民労働局長ヲ經由シ當該事業場ノ所在地
ノ所轄地方長官ニ對シ之ヲ爲スベシ

但シ厚生大臣ノ指定スル事業場ノ事業主(國ニ在リテハ當該官衙ノ長
トス)ノ申請又ハ請求ハ當該事業場ノ所在地ノ所轄地方長官ヲ經由シ
厚生大臣ニ對シ之ヲ爲スベシ

第二十四條 令第十七條ノ指定ニ依リ令第十五條又ハ第十六條第一項ノ
申請又ハ請求ヲ當該事業場ト之ニ協力スル數事業場ニ付包括シテ爲サ
ントス(一)合ハ協力關係ノアルコトヲ證明スベキ書類ヲ添附シ當該協
働事業主(國ニ在リテハ官衙ノ長トス)ノ連署ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第二十五條 厚生大臣又ハ地方長官令第十七條ノ指定ニ依リ令第十六條
第二項ノ變更命令又ハ指示ヲ當該事業場ト之ニ協力スル數事業場ニ付

包括シテ爲ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ關係事業主(國ニ在リテハ官衙ノ
長トス)ニ通知スルモノトス

第二十六條 事業主(國ニ在リテハ官衙ノ長トス)厚生大臣又ハ地方長
官ヨリ之ニ協力スル數事業場ニ付包括シテ令第十五條ノ申請若ハ請求
ニ基ク割當、令第十六條第一項ノ認可若ハ承認又ハ全條第二項ノ變更
命令若ハ指示ヲ受ゲタルトキハ其ノ割當、認可若ハ承認、又ハ變更命
令若ハ指示アリタル員數ノ範圍内ニ於テ關係事業場ノ事業主(國ニ在
リテハ官衙ノ長トス)ニ對シ其ノ雇入若ハ使用スベキ員數又ハ減耗補
充ノ基準ト爲ルベキ員數ヲ通知シ併セテ國家總動員法第三十一條ノ標
定ニ基キ其ノ旨ヲ遵守ナク當該割當、認可若ハ承認、又ハ變更命令若
ハ指示ヲ爲シタル厚生大臣又ハ地方長官ニ報告スベシ

第二節 雇入及就職

第二十七條 第二十九條ニ指定スル場合ヲ除キ令第十八條第一項第一號
及第二號ノ雇入及就職ハ令第十五條ノ申請ニ基ク割當、令第十六條第

一項ノ認可又ハ全條第二項ノ變更命令若ハ指示ニ際シ厚生大臣又ハ地方長官ノ爲シタル指示ニ從フベシ

第二十八條 令第十八條ノ申請ニ基ク罰當、令第十六條第一項ノ認可又ハ全條第二項ノ變更命令若ハ指示ガ協力關係ノアル事業場ニ付包括シテ爲サレタルモノナル場合ニ於ケル令第十八條第一項第一號又ハ第二號ノ員數ハ協力ヲ爲ス事業場ノ事業主ニ付テハ第二十六條ノ通報アリタル員數トシ、協力ヲ受クル事業場ノ事業主ニ付テハ其ノ殘餘ノ員數トス

第二十九條 職工業ニ於ケル雜役作業、土木建築業及運送業ニ於ケル日又ハ二十日以内ノ期間ヲ定ムル從業者ノ雇入及就職ハ其ノ者ノ居住ノ場所ノハ轄國民勤勞勤員署長ノ承認又ハ地方長官ノ指定スル團體ノ指示ヲ受クベシ

第三十條 令第十八條第一項第三號ノ認可ノ申請ハ様式第九號ニ依リ當

該從業者ヲ使用セントスル場所ノ所在地ノ所轄國民勤勞勤員署長（使用セントスル場所ガ本令施行地外ニ在ル場合ニ於テハ雇入ヲ爲スベキ地ノ所轄國民勤勞勤員署長）ヲ經由シ當該從業者ヲ使用セントスル場所ノ所在地ノ所轄地方長官（使用セントスル場所ガ本令施行地外ニ在ル場合ニ於テハ雇入ルベキ地ノ所轄地方長官）ニ對シテ之ヲ爲スベシ

第三十一條 令第十八條第二項ノ命令ヲ以テ定ムル場合トハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合トス但シ第二十條ノ者ニ關シテハ第十一號ニ指定スル場合ニ限ル

- 一 年令十二年未満若ハ年令六十一年以上ノ男子從業者又ハ年令十二年未満若ハ年令四十一年以上ノ女子從業者ノ雇入及就職ノ場合
- 二 入營（縣召ノ場合ヲ含ム以下同ジ）ヲ命ゼラレ、費用セラレ若ハ勤勞協力ヲ命ゼラレタルニ依リ解雇セラレタル者又ハ入營、費用若ハ勤勞協力ノ期間中該期間ノ終了シタル者ガ其ノ退營（入營ノ際行フ身元檢査ノ結果該者ヲ命ゼラレタル場合ヲ含ム）、費用若ハ勤

第三條第二項乃至第五項ノ規定ハ第一項第八號ノ場合ニ關シ之ヲ準用ス

第三十二條 令第二十條第一項第一號ノ命令ヲ以テ定ムル事業場トハ防空ノ必要上法令又ハ行政官廳ノ指導若ハ勸奨ニ基キ疎開スベキ事業場トス

第三十三條 地方長官令第二十條第一項ノ就職命令ヲ爲ス場合ハ様式第十一號ノ就職命令書ヲ就職ヲ命ゼラルベキ者ノ居住地又ハ令第二十條第一項第一號ノ事業場ノ所在地ノ所轄國民勤勞動員署長ヲシテ本人ニ交付セシムベシ

第三十四條 前ノ規定ニ依リ就職命令書ノ交付ヲ受ケタル者(以下指定就職者ト稱ス)ハ指定ノ日時及場所ニ出頭シ就職命令書ヲ提示シテ就職ノ申出ヲ爲スベシ

第三十五條 第十五條及第十六條ノ規定ハ指定就職者ニ之ヲ準用ス

第三十六條 地方長官就職命令ヲ爲シタル時ハ直ニ其ノ指定シタル就職

スベキ事業場ノ事業主(以下指定事業主ト稱ス)ニ對シ其ノ旨ヲ通知スベシ但シ令第二十條第二項ノ規定ニ依リ就職スベキ事業場ノ指定ヲ業種、地域等ニ依リ包括シテ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

地方長官必要アリト認ムルトキハ指定事業主又ハ其ノ代理人ニ對シ指定就職者ノ出頭スベキ日時及場所ニ出頭スベキコトヲ命ズルコトヲ得指定事業主ハ第三十三條ノ規定ニ依ル就職ノ申出アリタルトキハ直ニ雇傭條件其ノ他必要ナル事項ヲ提示スベシ

第三十七條 指定事業主及指定就職者ハ就職命令ノ本旨ニ鑑ミ速ニ雇傭關係ヲ成立セシムベシ

第三十八條 指定事業主ト指定就職者トノ間ニ雇傭關係成立シタルトキハ指定事業主ハ直ニ指定就職者ト連署ヲ以テ様式第十二號ニ依リ其ノ旨ヲ指定事業主ノ事業場ノ所在地ノ所轄國民勤勞動員署長ヲ經由シ就職命令ヲ爲シタル地方長官ニ届出ツベシ

第三節 發用

第三十九條 徵用セラルベキ事業主（事業主法人ナル場合ニ在リテハ其ノ代表者）ノ從事スベキ總動員業務ヲ行フ事業場ニ以上ノ都道府縣ニ在ルトキハ厚生大臣自ラ徵用令書ヲ發シ徵用セラルベキ者ニ之ヲ交付ス

第四十條 令第二十四條但書ノ場合トハ各號ノ一ニ該當スル場合トス

一 敵襲其ノ他緊急事態ノ發生ニ際シ緊急徵用ノ必要アル場合
二 緊急ニ徵用變更又ハ徵用解除ノ必要アル場合

前項ノ場合ニ在リテハ第四十三條、第四十四條及第四十六條中厚生大臣トアルハ地方長官、被徵用者ヲ使用スル官衙ノ所管大臣トアルハ被徵用者ヲ使用スル官衙ノ長トス

地方長官前二項ノ規定ニ依リ職權ヲ行使シタルトキハ厚生大臣ニ其ノ旨ヲ報告スベシ

第四十一條 令第二十五條第一項ノ徵用令書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ但シ軍機保護上特ニ必要アルトキハ第二號又ハ第三號ニ掲グル

ル事項ノ全部又ハ一部ヲ省略スルコトヲ得

- 一 徵用セラルベキ者ノ氏名、出生年月日、本籍、居住ノ場所（國民職乘能力申告令ニ依ル科學技術者ニシテ職乘ニ從事スルモノニ付テハ就乘ノ場所）
- 二 使用セラルベキ官衙、令第二十八條ノ者若ハ團體又ハ事業場ノ名稱及所在地
- 三 從事スベキ總動員業務、職乘及場所
- 四 徵用ノ期間
- 五 出頭スベキ日時及場所
- 六 其ノ他必要ト認ムル事項

前項第一號中居住ノ場所又ハ就乘ノ場所ニ關スル事項ハ徵用セラルベキ者現ニ使用セラルル官衙若ハ事業場ニ於テ行フ總動員業務ニ從事セシムル爲ニ徵用セラルルモノナルトキ又ハ事業主（事業主法人ナル場合ニ在リテハ其ノ代表者）ナルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要セズ

第三十九條又ハ第一項ノ徵用令書ハ様式第十二號ニ依ル

第四十二條 第十三條乃至第十六條ノ規定ハ徵用令書ノ交付ヲ受ケ出頭
スル者ニ之ヲ準用ス此ノ場合ニ於ケル出頭變更又ハ徵用取消ハ出頭變
更令書又ハ徵用取消令書ヲ本人ニ交付シテ之ヲ爲スモノトス

第四十三條 被徵用者ヲ使用スル官衙ノ所管大臣、令第二十八條ノ者若
ハ團體ノ長又ハ事業場ノ事業主其ノ使用スル被徵用者ニ付キ徵用ノ變
更又ハ解除ヲ必要トスルトキハ厚生大臣ニ之ヲ請求又ハ申請スベシ

被徵用者疾病其ノ他ノ事由ニ因リ總動員業務ニ從事シ難キ場合ニ於テ
ハ官衙ニ使ロセラルル者ニ在リテハ當該官衙ノ長ニ其ノ他ノ者ニ在リ
テハ令第二十八條ノ者若ハ團體又ハ當該事業場ノ所在地ノ所轄國民勤
勞動員署長ニ其ノ旨ヲ申出ヅルコトヲ得

第四十四條 厚生大臣前條ノ請求、申請若ハ申出アリタル場合又ハ特ニ
必要アリト認ムル場合ニ於テハ徵用ノ變更又ハ解除ヲ爲スコトヲ得
厚生大臣前條第一項ノ請求ナクシテ官衙ニ使用セララルル者ノ徵用ヲ解

除セントスルトキハ當該官衙ノ所管大臣ニ協議スルモノトス

第四十五條 被徵用者船員動員令ニ依リ徵用セラレタルトキハ徵用ハ解
除セラレタルモノト看做ス

第四十六條 厚生大臣徵用ノ變更又ハ解除ヲ爲サントスルトキハ徵用變
更命令又ハ徵用解除命令ヲ發シ被徵用者ノ就業地ヲ管轄スル地方長官
徵用令書ヲ發シタル地方長官又ハ第四十一條第一項第五號ノ出頭ノ場
所ノ所轄地方長官ニ之ヲ通達スルモノトス

地方長官徵用變更命令又ハ徵用解除命令ノ通達ヲ受ケタルトキハ直ニ
様式第十三號若ハ第十四號ニ依ル徵用變更令書若ハ徵用解除令書ヲ發
シ被徵用者ニ之ヲ交付シ又ハ適宜ノ方法ニ依リ其ノ旨ヲ本人ニ示達ス
ベシ

被徵用者タル事業主（事業主法人ナル場合ニ在リテハ其ノ代表者）ノ
從事スル總動員業務ヲ行フ事業場ニ以上ノ都道府縣ニ在ル場合又ハ被
徵用者本令施行地外ノ場所ニ於テ就業スル場合ニ於テ徵用ノ變更又ハ

解除ヲ爲サントスルトキハ前二項ノ規定ニ拘ラズ厚生大臣徵用變更令
書又ハ徵用解除令書ヲ發シ被徵用者ニ之ヲ交付スルモノトス

第四十七條 徵用令書、出頭變更令書及徵用取消令書ハ國民勤勞動員署
長又ハ市町村長（東京都ノ區ノ存スル區域、京都市、大阪市、名古屋
市、横濱市及神戸市ニ在リテハ區長）若ハ之ニ準ズベキモノヲシテ徵
用セラルベキ者又ハ被徵用者ニ之ヲ交付セシムベシ

第四十八條 重要事業場勞務管理令第四條第一項又ハ第十條第一項ノ規
定ニ依リ厚生大臣（軍需省所管企業ニ付テハ軍需大臣）ノ認可ヲ受ケ
タル事項ニシテ被徵用者ノ給與ニ關スルモノニ付テハ令第二十九條第
二項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

第四節 勸勞協力

第四十九條 令第三十五條ノ命令ヲ以テ定ムル總勸自業務トハ國ノ地方公共團體及ハ厚生大臣若ハ地方長官ノ指定スル者ノ行フ總勸自業務トス

第五十條 令第三十六條第一項ノ命令及ハ請求ハ様式第十五號ノ勸勞協力措置令書ヲ交付シ之ヲ爲スモノトス

第五十一條 令第三十六條ノ規定ニ基ク勸勞協力ヲ爲スベキ者ノ選定ニ當リテハ本人ノ年齢・身體ノ狀態・家庭ノ狀況・希望等ヲ斟酌スベシ

第五十二條 第三十三條乃至第十六條ノ規定ハ令第三十六條ノ通知ヲ受ケ出頭スル一之ヲ適用ス

第五十三條 第四十三條・第四十四條及ニ第四十六條第一項及第二項ノ規定ハ勸勞協力ニ之ヲ適用ス但シ第四十三條第一項中官衙ノ所管大臣トアルハ當該官衙ノ長トシ厚生大臣トアルハ地方長官トシ當該官衙ノ所管大臣トアルハ當該官中厚生大臣トアルハ地方長官トシ當該官衙ノ所管大臣トアルハ當該官

前ノ受トシ第四十六條第一項中厚生大臣トアルハ地方長官トス此ノ場合ニ於ケル勸勞協力變更及ハ勸勞協力解除ハ女子挺身隊ニ依ル勸勞協力ニ在リテハ様式第十六號及ハ様式第十七號ニ依ル勸勞協力變更令書及ハ勸勞協力解除令書ヲ本人ニ交付シテ之ヲ爲シ若ハ適宜ノ方法ニ依リ本人ニ其ノ旨ヲ示シ其ノ他ノ勸勞協力ニ有リテハ適宜ノ方法ニ依リ本人ニ其ノ旨ヲ示シ之ヲ爲シ

第五十四條 令第三十九條ノ規定ニ依リ勸勞協力ヲ受ケル者ニ於テ負擔スベキ經費ハ左ニ掲グルモノトス

- 一 作業地ニ至ル往復旅費
 - 二 給 與
 - 三 扶助ニ要スル費用
 - 四 且ノ他地方長官ニ於テ必要ト認メタル費用
- 地方長官ニ於テ特別ノ事情アリト認ムルトキハ勸勞協力ヲ受ケル者ヲシテ前項ノ經費ノ全部及ハ一部ヲ負擔セシメザルコトヲ得
- 第五十五條 第二項ニ規定スルモノヲ除キ勸勞協力ヲ爲サシムル期間ハ一年ニ付六十日以内トス

女子挺身隊ニ依ル勤勞協力ノ期間ハ概ネ一年トシ、國民勤勞報國家ニ依ル勤勞協力ノ期間ハ第五十條ノ勤勞協力措置令書ニ記載スル期間トス

勤勞協力ヲ爲サシムル期間ハ特別ノ必要アル場合又ハ本人ノ同意アル場合ニ於テハ之ヲ延長スルコトヲ得

第五十六條 女子挺身隊ノ隊員ハ第三十六條第一項ノ規定ニ依リ選定シタル者ノ報告ニ基キ地方長官之ヲ決定シ本人ニ其ノ旨ヲ様式第十八號ノ挺身勤勞令書ニ依リ通知スルモノトス

第五十七條 女子挺身隊及國民勤勞報國家ハ隊長及其ノ他ノ隊員ヲ以テ之ヲ組織ス

女子挺身隊ノ隊長ハ地方長官之ヲ命免シ、國民勤勞報國家ノ隊長ハ令第三十六條ノ措置ヲ爲ス者之ヲ命免ス

隊長ハ隊務ヲ整理ス

第四章 後勤配置

第五十八條 令第四十三條ノ命令ヲ以テ定ムル場合トハ左ノ各號ノ一ニ該当スル場合トス

- 一 廠製具ノ他緊急事態ノ發生具ノ他特別ノ事情ニ因ル生産計畫、生産設備等ノ整備ニ對感スル爲必要アル場合
- 二 資材、燃料等ノ入手不圓滑等ニ基ク手待勤勞ヲ他ノ緊要部面ニ活用スル爲必要アル場合
- 三 重要物資ノ緊急生産ノ爲必要アル場合
- 四 緊款ナル運輸、土木建築事業等ノ完遂ノ爲必要アル場合
- 五 其ノ他特別ニ必要アル場合

第五十九條 令第四十四條ノ命令ハ厚生大臣ノ指定スル者又ハ團體ニ對シテハ厚生大臣、地方長官ノ指定スル者又ハ團體ニ對シテハ地方長官之ヲ爲スモノトス

第六十條 後勤配置ヲ受ケントスル事業場ノ事業主(國ニ在リテハ當該官衙ノ長トス)ハ所要人員數、業務ノ種類、所要期間等ヲ具シ當該事業場ノ所在地ノ所轄地方長官ニ之ヲ申請又ハ請求スベシ

第六十一條 前條ノ規定ニ依ル申請又ハ請求アリタル場合ニ於テ厚生大臣又ハ地方長官機動配置ヲ爲サシムル必要アリト認ムルトキハ令第四十四條ノ規定ニ依リ厚生大臣ノ指定スル者若ハ團體ニ對シテハ厚生大臣・其ノ他ノ者ニ對シテハ地方長官様式第十九號ノ機動配置措置令書ヲ交付シ令第四十五條ノ命令又ハ請求ヲ爲スモノトス

第六十二條 令第四十七條ノ規定ニ基ク機動配置ヤラルベキ從業者ノ選定ニ當リテハ本人ノ年齢・身障ノ状態・居住ノ場所・家庭ノ状況等ヲ斟酌スベシ

第六十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ機動配置ヤラルベキ從業者ヲ使ハスル事業主(國ニ在リテハ當該官衙ノ長トス)又ハ令第四十四條ノ若若ハ團體ハ令第四十五條ノ命令又ハ請求ヲ俟タズ直ニ令第四十六條ノ措置ヲ爲スコトヲ得

一 機動配置ヤラルベキ從業者ヲ使用スル事業主又ハ令第四十四條ノ若若ハ團體ト機動配置ヲ受クベキ事業場ノ事業主(國ニ在リテハ當該

該官衙ノ長トス)トノ間ニ機動配置ニ關スル協定書ヒタル場合ニシテ其ノ機動配置ヤラルベキ者同一都道府縣内ニ於ケル事業場ニ於テ直ニ六月以内(學徒勤勞ヲ爲ス者ノ機動配置ニ付テハ二十日以内)ノ期間從業スル場合

二 其ノ他厚生大臣ノ定ムル場合

第六十四條 前條ノ規定ニ依リ令第四十六條ノ措置ヲ爲サントスルトキハ機動配置ヲ受クル事業場ノ事業主(國ニ在リテハ當該官衙ノ長トス)ト連署ヲ以テ當該事業場ノ所在地ノ所轄地方長官ニ對シ機動配置ノ事由・機動配置ヤラルベキ從業者ノ目数・機動配置ノ期間其ノ他機動配置ニ關スル事項ヲ具シ豫メ其ノ官ヲ届出ツベシ

機動配置ヲ受クル事業場ガ機動配置ヤラルベキ從業者ヲ使用スル事業場又ハ之ヲ保有スル者又ハ團體ノ協力事業場又ハ同一事業主ノ所屬事業場ナル場合ニ於テハ前項ノ届出ハ連署ヲ要セザルモノトス

第六十五條 第五十四條ノ規定ハ令第五十條ノ規定ニ依リ機動配置ヲ受クル事業主ノ負擔スル費用ニ關シ之ヲ準用ス

第六十六條 第十三條乃至第十八條ノ規定ハ令第五十二條ノ規定ニ於テ
令第九條及第十三條ノ規定ヲ機動配置ヲラルベキ從業者ニ關シ準用ス
ル場合ニ之ヲ準用ス

第六十七條 機動配置ヤラルベキ從業者ノ機動配置ノ期間概ネ六月ヲ超
ユル場合ニ於テ當業者タル令第四十四條ノ者若ハ團體又ハ事業主ハ國
ニ在リテハ當該官衙ノ長トス一ト機動配置ヲ受クベキ事業主トノ間ニ
其ノ者ノ配置轉換ニ關スル協議登ヒタルトキハ其ノ者ニ對シ機動配置
ヲ爲スベキ場所及總動員業務ヲ以テ爾後其ノ者ノ徵用又ハ勤勞協力ノ
場所及從業スベキ總動員業務ト爲スベキ旨ヲ通知スルコトヲ得
前項ノ當業者同項ノ通知ヲ爲シタルトキハ遲滞テク其ノ旨ヲ當該ノ者
若ハ團體又ハ事業主ノ所在地ノ所轄地方長官及當該被徵用者又ハ勤勞
協力ヲ爲ス者ニ對シ徵用令書又ハ令第三十六條ノ命令・請求若ハ措置
ヲ爲シタル地方長官ニ報告スベシ

第六十八條 前條第一項ノ通知アリタルトキハ其ノ者ニ付徵用又ハ勤勞

協力ノ場所及從業スベキ總動員業務ノ變更アリタルモノトス

前項ノ場合ニ於ケル徵用又ハ勤勞協力ノ期間ハ殘餘ノ期間トス

第六十九條 厚生大臣又ハ地方長官機動配置又ハ配置轉換ノ爲徵用若ハ
勤勞協力ノ變更ニ付不正ノ事實若ハ庸偽ノ事實アリト認ムルトキ又ハ
特ニ必要アリト認ムルトキハ機動配置又ハ配置轉換ノ爲ノ徵用若ハ勤
勞協力ノ變更ニ付其ノ取消・變更若ハ解除ヲ命ズルコトヲ得

第五章 雜則

第七十條 勞務供給事業ヲ行フ者ヨリ從業者ノ供給ヲ受ケ其ノ事業ニ之
ヲ使用ヤントスル者ハ其ノ使用員數ニ付様式第二十號ニ依リ從業者ヲ
使用ヤントスル場所ノ所在地ノ所轄國民勤勞總局ヨリ認可ヲ受クベ
シ但シ勞務供給事業規則第七條ノ四ノ規定ニ依ル指定ヲ受ケタル供給
業者ヨリ且ノ指示アリタル員數ニ限リ供給ヲ受ケ之ヲ使用スル場合ハ
此ノ限ニ在ラズ、勞務供給業者ニ所屬スル勞務若ハ勞務供給事業規則

第七條ノ四ノ規定ニ依ル指示ニ基キテ爲ス當該勞務供給業者ノ指示ニ從フベシ

第七十一條 當時五人以上ノ從業者ヲ使用スル者ハ事業場毎ニ様式第二十一號ニ依ル從業者名簿ヲ備付ケ其ノ雇入、使用、解雇、退職等ニ關スル事項ヲ記載スベシ但シ工場及ハ礦業法ノ適用ヲ受クル事業場ニ使中ナル從業者ニ付テハ職工名簿ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得
前項ノ名簿ハ從業者ノ死亡、解雇、退職及ハ使用ヲザルニ至リタル後二年間之ヲ保存スベシ

第七十二條 指定就職者及ハ強制配置セラレタル者ノ賃金其ノ他ノ給與ヲ定ムルニ依リテハ其ノ者ノ技能程度、從事スベキ業務及場所等ニ應ジ且從前ノ賃金其ノ他ノ給與及之ニ準スベキ收入ヲ斟酌スベシ
指定就職者ノ雇入ハ其ノ者ガ從前賃金統制令第十條第一項ノ最高初給賃金ノ定メアル勞務者タリシ場合ハ同條第八項ノ規定ノ適用ニ關シテハ從前ノ事業主ノ雇入レタル時ニ於テ雇入レタルモノト看做ス

第七十三條 女子挺身隊ノ隊員ノ給與ニ關シテハ管社經理統制令及重要事業場勞務管理令ノ適用アルモノノ外ハ賃金統制令ヲ適用ス

第七十四條 設置用者、就職令ニ係キ就職スル者、勸業協力員等及ハ強制配置セラレタル從業者ガ業務上負傷シ疾病ニ罹リ及ハ死亡シタル場合ニ於テ地方長官等ニ必要アリト認ムルトキハ事業主ニ對シ本入及ハ其ノ遺族ニ他ノ法令ノ規定ニ依ル扶助及ハ厚生大臣及ハ地方長官ノ定ムル扶助ヲ爲ス外ニ扶助スベキコトヲ命ズルコトヲ得

第七十五條 令第六十一條ノ規定ニ依ル報告ハ從業者、事業主、令第四十四條ノ者若ハ團體其ノ他ノ關係者ヨリ之ヲ爲ス

第七十六條 令第十八條第一項第一號及第二號ノ規定ニ依リ從業者ニ雇入レタルトキハ様式第二十二號ニ依リ五日以内ニ其ノ者ヲ便用スル事業場ノ所在地ノ所轄國民労働局若ハ其ノ者ニ雇出ツベシ、但シ其ノ雇入ガ就職令ニ係クモノナルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第七十七條 令第六十三條第二項ノ證券ハ様式第二十三號ニ依ル

第七十八條 令第六十五條第一項ノ規定ニ依リ厚生大臣ノ地方長官ヲシテ行

ハシムベキ職權ハ第四十條第一項第二號ノ場合ニ於ケル令第二十四條ニ
ニ基ク職權及令第四十六條ニ基ク職權ニシテ行政事務議會ノ關係部
道府縣間ニ於ケル費用變更久ハ被動配置ニ關スルモノトス
第七十九條 令第六十五條第二項ノ規定ニ依リ地方長官ノ國民勤勞勸
署長ニシテ行ハシムベキ職權ハ令第四條第一項、第八條、第九條第一
項、第十九條第一項、及ハ第三十六條第二項ニ基ク職權ニシテ特ニ地
方長官ノ指定スルモノトス
令第六十五條第二項ノ規定ニ依リ地方長官ノ市町村長ニシテ行ハシム
ベキ職權ハ令第四條第一項及ハ第三十六條第二項ニ基ク職權ニシテ特
ニ地方長官ノ指定スルモノトス

本令ハ昭和二十年 月 日ヨリ之ヲ施行ス

國民費用令施行規則、國民費用令第十九條第五項ノ規定ニ依ル費用チラ
ルベキ者ノ出頭旅費支辨方ニ關スル件、國民費用令第十九條第五項ノ規
定ニ依ル費用チラルベキ者ノ出頭旅費規則、勞務調整令施行規則、學校
卒業者使用制限令施行規則、國民勤勞勸導協力令施行規則及女子挺身勤
勞令施行規則ハ之ヲ廢止ス
本令施行前勞務調整令施行規則第五條第一項第二號ノ規定ニ依リ爲シタ
ル認定、同令第六條第一項第三號、第十條第一項第十號若ハ第十條ノ二
ノ規定ニ依リ爲シタル指定ハ第十條ノ三第一項但書、第十一條但書若ハ
第十二條第一項但書ノ規定ニ依リ爲シタル認可及ハ學校卒業者使用制限
令第一條ノ規定ニ依リ爲シタル指定ハ本令中ノ相當規定ニ基キ爲シタル
認定、指定及ハ認可ト看做ス
昭和十五年厚生省令第四十五號（國民費用令第三條第二項ノ規定ニ依リ
費用チラルベキ者ノ調査登錄ニ關スル件）中左ノ通文正ス
「國民費用令第三條第二項ノ規定ニ依リ費用チラルベキ者ノ調査登錄ニ

「國民勤勞勅員令第二十三條第二項ノ規定ニ依リ徵用セラ
ルベキ者ノ調査登錄ニ關スル件」ニ改ム

第一條中「國民徵用令（以下台ト稱ス）第三條第二項」ヲ「國民勤勞勅
員令第二十三條第二項」ニ改ム

總務士職務規律中左ノ通改正ス
第一條 國民勤勞勅員令第二十八條ノ規定ニ基ク被徵用者ノ表彰ヲ除ク
被徵用者ノ報務ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第一條ノ二 被徵用者ハ之ヲ應徵士ト稱ス
應徵士ハ「田ノ本義ニ則リ忠誠ヲ旨トスベシ
第六條第一項中「事業主タル應徵士」ノ下ニ「又ハ國民勤勞勅員令第二
十八條ノ若シハ應徵士ニ使用セラルル應徵士」ヲ加ヘ「管理工場若シハ指
定工場」ヲ「事業場」ニ改ム

被徵用者表彰規程中左ノ通改正ス
第一條中「國民徵用令第十六條ノ四」ヲ「國民勤勞勅員令第二十八條」

ニ改ム
國民徵用令ニ依リ管理工場又ハ指定工場ニ徵用セラレタル者ノ旅費及
其ノ家族ノ出頭旅費並ニ管理工場又ハ指定工場ノ事業主ノ副置ニ納入
スベキ旅費ニ關スル件中左ノ通改正ス

第一條 國民勤勞勅員令（以下台ト稱ス）第二十八條ノ若シハ應徵士。官
衙以外ノ事業場ニ於テ總務員業務ニ同令ニ依リ從事セシムル爲ニ徵用
セラレタル者。勤勞協力スベキ者（以下被徵用者ト總稱ス）徵用台書
ノ交付又ハ同令第三十六條ノ通知（以下徵用台書ト總稱ス）ヲ受ケ指
定ノ場所ニ出頭スル場合ノ旅費ノ支給及其ノ一時變替支辨並ニ徵用又
ハ勤勞協力（以下徵用ト總稱ス）ヲ解除セラレ歸郷スル場合又ハ被徵
用者若シハ其ノ家族ノ危篤若シハ死亡ノ爲當該令第二十八條ノ若シハ應徵
士又ハ當該事業主（以下事業主ト總稱ス）ノ通知ニ依リ被徵用者ノ家族
出頭シ若シハ事業主ノ許可ヲ得テ被徵用者一時歸郷スル場合ノ旅費及令
第三十條第二項（令第三十九條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ
規定ニ依リ事業主ノ副置ニ納入スベキ旅費ノ額ニ關シテハ本令ノ定ム

- 勞協力ノ排除ノ日ヨリ三月以内ニ再ビ原職ニ復職スル場合
- 三 軍人又ハ之ニ準ズベキ者（此處ヲ含ム）トシテ職制其ノ他ノ公務ニ因リ傷喪ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタル者ニシテ其ノ固定シタル症狀照會法施行令第二十四條、第二十四條ノ二又ハ第三十一條ニ規定スル傷軍ノ程度ニ達スルモノノ導入及就職ノ場合
 - 四 勳章勲章又ハ國民勲勞勲員者長ノ紹介ニ基ク從業者ノ導入及就職ノ場合
 - 五 別ニ指定スル事業ニ於ケル導入及就職ノ場合ヲ除クノ外農林、養蠶、畜産、養蠶業及水産業ニ於ケル從業者ノ導入及就職ノ場合
 - 六 國民勲勞勲員者長ニ於テ身体ノ健康ニ因リ作業能力著シク劣レルモノト認定シタル者ノ導入及就職ノ場合
 - 七 營業ノ承継其ノ他ノ事由ニ因リ事業ノ承継アリタル場合ニ於テ從前職シ居リタル者ヲ引續キ導入ルル場合及其ノ場合ニ於ケル其ノ者ノ就職ノ場合

- 八 礦工業ニ於ケル新役作業、土木建築業及運輸業以外ニ於ケル從業者ノ日日又ハ三十日以内ノ期間ヲ定ムル導入及就職ノ場合
 - 九 適用セラレタル者又ハ勲勞當時要員トシテ勲勞協力スル者ノ富該事業場ニ導入及就職ノ場合
 - 十 航空機搭乗員又ハ航空法第十六條ノ規定ニ依ル考査ニ合格シタル者ノ航空士、航空機操縦士若ハ航空機機調士トシテノ導入及就職ノ場合
 - 十一 國及都道府縣ニ於ケル從業者ノ導入及就職ノ場合
 - 十二 第九條第一項但書ノ規定ニ依リ國民勲勞勲員者長ノ認可アリタル者ノ導入及就職ノ場合
 - 十三 厚生大臣又ハ地方長官ノ別ニ指定スル者ノ導入及就職ノ場合
 - 十四 其ノ他厚生大臣又ハ地方長官ノ定ムル場合
- 前項第六號ノ認可ヲ受ケントスル者ハ様式第十號ニ依リ居住地ノ所屬國民勲勞勲員者長ニ申請スベシ

ル所ニ依ル

第三條ノ二、第十一條及第十二條中「管理工場」ハ
指定工場ニ削ル

第三條ノ三及第十一條中「當該管理工場」ハ指定工場ニ削ル
第二十八條ノ三及第十一條中「當該事業場」ニ改ム

第十一條但書中「管理工場」ハ指定工場ニ削ル
「官衙以外ノ事業場」ニ改メ「管理工場及指定工場ニ於テ行フ總動員業務ニ從事シムルモノナルトキ」ヲ削ル

國民徴用令補助規則中左ノ通改正ス

第一條中「國民徴用令第十九條ノ三」ヲ「國民勤勞勸導令第三十一條
(同令第三十九條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)」ニ改ム
第二條中「國民徴用令第十九條ノ三第一項」ヲ「國民勤勞勸導令第三十一條第一項(同令第三十九條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)」ニ改メ同條第一號中「被徴用者」ハ「被徴用者若ハ勤勞協力スル

者(以下被徴用者ト總稱ス)又ハ」ニ改ム

第三條中「國民徴用令第十九條ノ三第二項」ヲ「國民勤勞勸導令第三十一條第二項(同令第三十九條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)」ニ改ム

第二十七條第二項中「管理工場」ハ指定工場ニ削ル
「令第二十八條ノ三若ハ団体、事業場」ニ改ム

第二十八條及第三十條中「管理工場」ハ指定工場ニ削ル
「令第二十八條ノ三若ハ団体又ハ事業場」ニ改ム